

同窓会新聞

国士舘大学
長野県同窓会長野県支部
発行 長野県同窓会長野県支部
会務局長 佐々木正行
事務局 金井哲雄
〒389-1105
長野市豊野町豊野 1905
Tel. 026-257-2835



昔とはちがう今

工学部 S44 年卒 (佐久市)
長野県支部会長 佐々木正行

今年のはじめての同窓会新聞ですから、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成になって早いもので、今年は平成 23 年です。すでに平成生まれの人が大学を卒業しました。私は昭和 22 年生まれで時代がちがいます。たぶん私達の 60 歳以上の人間のほうが洗濯機、ラジオ、扇風機、



新年挨拶

国士舘大学学長 朝倉 正昭

新春のお慶びを申し上げます。

同窓生の皆様方におかれましては、ご健勝で夢多き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は学長就任 1 年目、とまどいながらも、皆様方のご指導・ご協力を賜り職責を果たすことができました。衷心より感謝と御礼を申し上げます。

代」の到来、志願者に対する入学者の割合は 93% に達し、大学進学率は 57% と過去最高しかし、平成 22 年度も約 38% の大学で「入学定員割れ」が生じたことが報じられ、本年度も大変厳しい状況下にあります。

本年は、幸いにも昨年の「オープンキャンパス」への来校者数や「予備校模擬試験」の志願者数など、評価できる情報もあります。が、前年度を上回る状況ではなく、決して樂觀は出来ません。

今年も、これから大学入学試験の本番を迎え、青年の「心身の修

自分の行く、将来何になりたいたいという気持ちが必要になります。私は政治がおかしいだけでなく、便利になりすぎたこと、自分の脳を使い切っていないような気がします。

私たちが親の時代の人達がいけなかったかもしれない。自分ができなかったことを、何でも与えてしまおう。最近私も孫ができ、まだ必要もないのに、おもちやを買って与えてしまおう。私達の時代は欲しくても買ってもらえなかった。その気持ちこそがそうさせるのでしよう。しかしこれでは日本がますます世界レベルから下がつてしまっています。あまり若者を甘やかしてはいけません。もつと自分に技術を持たせる必要があると思

世田谷区にあります松陰神社の隣接地の現在地に校舎（大講堂）を建設し、財団法人「国士舘」を設立して、国士舘高等部を開設いたしました。

以来 94 年目の今日迄、脈々と継承されてきた国士舘教育の歴史と伝統である「文武両道教育」を重んじ、不断（日常）の「読書・体験・反省」の実践と「思索」を教育指針として、教育の理念である四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」を体得した人物で、男子を「紳士」と呼び、女子を「淑女」と呼び、この人材を「国士」と名付け、この「国士」を養成する館（学舎）であるとして「国士舘」と命名されたのであります。

現在、わが母校国士舘は、7 学部・10 研究科・2 研究所、それに附属中学・高校を擁する総合大学園であります。創立者・柴田徳次郎先生は「学園の発展のために、教員と職員が協力して、学生の面倒見を良くし、卒業生が社会で活躍し、母校との絆を強くすること」の二輪車論を訓話の時間に再々話されておりました。あの時から 50 年後の今日、まさに創立者のお話を実に感心してしております。あと 6 年で 100 周年です。100 周年記念事業も 3 年前の梅ヶ丘校舎（10 階棟と 3 階棟）も完成し、政経・法学・文学・理工各学部では 1 年次より 4 年次まで一貫教育が展開されております。次は世田谷区役所側正門の所の



年頭に思う

政経学部 S49 年卒 (駒ヶ根市)
長野県議員 佐々木祥二

米国のサブプライムローン問題に端を発し、リーマンショックの深い爪痕が穴埋めされず、不況の嵐は世界恐慌の様相さえ見せており、また第三の危機もヨーロッパを中心に財政危機が表面化する兆しで、円高の構図が再燃する恐れもあります。一方危険な覇権主義国家を目指す急速な中国の台頭及北朝鮮の動きが大変気がかりです。

諸般の情勢にも拘わらず、我が国政府は政争にあけくれ諸策は全く国家の体をなしていない様に思うのは私だけではないと存じます。困ったものです。例をあげれば、インド洋の給油活動は単に給油活動を行って国際社会から感謝され、評価されるという事だけに、とどまらないのであって、日本は給油活動を停止する事により重大な権利をむきむき放棄する事になってしまふ。日本のシーレーンが不安定な事になる。そして自衛隊の訓練にも影響が出るし、国際貢献も出来なくなる。自衛隊諸君の士気も下がり能力は低下する。そこにもつてき

て原油が値上がりすれば、日本国に利する事は何もないのである。大変な国益が損なわれるものであり、今の政府は国益と言う機会がほとんどない様な気がしてならない。また国境問題も国益を端的に表現している。北方四島、竹島、尖閣諸島などロシア、韓国、北朝鮮、中国、台湾などどの国も「今」虎視眈眈と日本を狙っている。この問題も日本が危ないのである。

そして恐怖の国家解体三法が現実味をおびてきた。一つは「外国人地方参政権付与」であり二つ目は「夫婦親子別姓」、三つ目は「人権侵害救済法案」である。これらは私は、国家解体三法案の意図を明確に持った法案であり、決して日本の国益にかなった法案でないと考えます。読者の皆様はいかが思っていますか？内容については、書面の都合で語りませんが、我が同志の方々には、もう一度その法案の真意をさぐりあてていただきたいと思います。

今、日本が元気がない、GDP でも中国に抜かれ、ペコペコ外交で、日本のプ

23 年県総会には
サッカーの山本昌邦氏を
講演会の講師に
予定しています。



長野県同窓会の発展を祈念

国士舘大学同窓会長

岡

利幸

長野県支部の皆様
こんにちは。このたび、貴支部発行の同窓会新聞から原稿依頼を受け拙文を投稿させて頂く機会を得ましたこと、誠に光栄に存じます。

長野県からは、本部同窓会の役員として、前会長の笹井計知氏に大変ご協力を頂いていることを先ずご報告し、紙上をお借りし感謝と御礼を申し上げます。

さて、今回は全国の支部の活動状況等について少しふれさせて頂きます。国士舘大学同窓会は全国に50支部（47都道府県、北海道は4支部）を置き、全支部とも年一回総会を開くなど、活発に活動しております。これは、他大学ではみられない大変素晴らしいことです。誇りに思える同窓会だと思っています。

私どもは、縁あって国士舘大学で学んだ仲間です。多数の年齢差はあろうとも、ルーツは同じです。「苦楽を共にした」「同じ釜の飯を食った」「戦友のようなものです。生涯、その気持ちには変わるものではありません。

学部、卒業年次とも違っていて、学生時代にはお会いしたことがなかった人でも、同窓会に出席し



理事長挨拶

体育学部 S45年卒（長野市）中澤 次生

国士舘大学長野県支部の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

近年、私達を取り巻く環境は、気象、政治、経済に至るまで過去に経験した事の無い衝撃の連続をもたらしている。その結果人々の心に大きな不安や恐れをも生じさせました。中でも某国の我が国に対する挑発行為は、長年平和と安定を享受してきた私達に大きなショックであり、脅威すら覚えま

す。戦後六十余年世界は大きく変化し衰退

する大国に変わり、アジア諸国が大きな力を付けています。日本はどうか、国内政治の混乱、外交交渉の弱さ又弱体化した国内経済等々、一刻も早く国を立て直し、以前の元気ある国を取り戻さなければなりません。そこで皆様方に精神的支柱の役割をお願いいたします。国士舘大学で学ばれた皆様方にはその資格があります。私達一人一人は強い人間ではないかもしれませんが、四徳目の原点に立ち返り、大同団結し毅然とした態度と柔軟

な思考を駆使し前進するなら、必ず私達の回りから未来に向けての明るい日差しが現れるでしょう。そして、国士舘大学も、私達も、社会の信頼を集め、多くの人達とより一層の絆を繋ぐことが出来ると思うのです。

さて、一昨年より、国士舘大学長野県同窓会は役員が一部改まり、佐々木会長を中心に、事務局金井様の大きなお力に頼りながら出発となりました。役員一同皆様方から寄せられた信頼と期待に応えるべく真



思い出・近況報告等

体育学部 S58年卒（長野市）堅谷

滋

昭和58年3月、体育学部体育学科卒業の堅谷（たてや）と申します。

同窓会の役員の皆様方、諸先輩方には日頃お世話になっているにもかかわらず、たいへんご無沙汰をしております。申し訳なく思っております。

さて私、大学在籍中は、陸上部（短距離）に所属、四年間世田谷校舎隣接の松陰寮六階に先輩方や後輩たちと住まわせていただきました。

私にとって世田谷校舎や松陰寮（現在は他

きたので、世田谷校舎の大学施設は、思い出深い第二の故郷です。寮と校舎の間にあるグラウンド『寒稽古をした柔道場や剣道場』『大学近くを走る東急世田谷線と商店街』『松陰神社』今でも目を閉じると昨日のことがよく思い出されます。

今、世界中が非常に厳しく難しい時代に差し掛かっていますが、これからも様々な分野で在校生、卒業生の皆さんが活躍され、大学が発展、躍進されることを心から願っております。

今、世界中が非常に厳しく難しい時代に差し掛かっていますが、これからも様々な分野で在校生、卒業生の皆さんが活躍され、大学が発展、躍進されることを心から願っております。

今、世界中が非常に厳しく難しい時代に差し掛かっていますが、これからも様々な分野で在校生、卒業生の皆さんが活躍され、大学が発展、躍進されることを心から願っております。

今、世界中が非常に厳しく難しい時代に差し掛かっていますが、これからも様々な分野で在校生、卒業生の皆さんが活躍され、大学が発展、躍進されることを心から願っております。



私と国士舘大学

政経学部 H8年卒（佐久市）前島

正彦

「ここ武蔵野の国士舘」今でも校歌のフレーズが脳裏に焼きついて離れない。現在、私は長野県佐久市にあるラジオ局「エフエム佐久平」で放送マンとして仕事を

している。毎日入ってくる事件、事故、地域情報を24時間態勢で報道している。加えて民間放送の宿命でもある番組スポンサーの獲得といった営業活動にも東奔西走するハードスケ

ジュールの日々である。そんな激動の毎日を送ることに、私は「国士舘スピリット」無くして語ることは出来ない。私は長野県内岩村田高校を卒業後大きな夢を抱き、国士舘の門を叩く事になった訳であるが、今でも入学式の感動を鮮明に覚えている。全国各地、また世界から集まってくる同志と学生生活を送れる喜び

は何にも変えられないものであった。その後の生活は、読者の皆様の想像に任せさせていただきます。今振り返ってみても大学時代の4年間は人生の中でも実に充実していたものである。現在の私の礎はやはり国士舘である。叩く事になった訳であるが、今でも入学式の感動を鮮明に覚えている。全国各地、また世界から集まってくる同志と学生生活を送れる喜び

は、これからは、国士舘が私に教えてくれたかけがえのないものである。現在は社会情勢の不安定な時代である。円高、社会福祉、消費マインドの落ち込み、超高齢化社会等々、他にも列挙すればキリが無いほどである。しかし、ただ不安ばかり感じていても解決の糸口を見出す事は難しい。今の自分

「3つの力」はまさに国士舘が私に教えてくれたかけがえのないものである。現在は社会情勢の不安定な時代である。円高、社会福祉、消費マインドの落ち込み、超高齢化社会等々、他にも列挙すればキリが無いほどである。しかし、ただ不安ばかり感じていても解決の糸口を見出す事は難しい。今の自分

信」ではなからうか。未知なる自分の可能性を信じ、この活動の次代を生き抜いていきたい。そしてその源はやはり国士舘で培った「3つの力」だと感じている。この原稿にペンを走らせている今も社会は止まることなく動いている。書き終えた瞬間また放送マシーンとして一分一秒をも争うような生活が待っている。辛い時は国士舘時代の素晴らしい思い出を回想する事にしよう。まもなく本番が待っている。そして今日も私はマイクの前に座る。...



感謝

政経学部 H15 年卒
(長野市) 西澤大作

大学を卒業し、社会人となり早 8 年が経とうとしております。大学生時代に経験したこと、またご教示頂いたことは今でも私の人生の糧となっております。

私は高校時代より陸上競技の『競歩』を専攻し、人一倍のめり込んでおりました。そして高校 2 年次より、当時の国士舘大学競歩ブロック専属コーチであった酒井浩文氏の率いる競歩合宿に参加しておりましたので、進学を考える時には迷いもなく国士舘大学で競歩をする自分を思い描いておりました。多感な時期に刺激的な諸先輩方、また魅力的な酒井

話器越しからの熱い想いや情熱を共有できます。また年に一度は酒を酌み交わす同期生でも、当時さながらの気迫で想いをぶつけあいます。そして今でも、私の心体を心配してくださる先輩や、当時のような先輩命令まではいかないまでも、私のわがままを受け入れてくれる後輩に感謝しております。そういった感謝の気持ちは年月が経つにつれ、改めて強く感じる今日この頃でございます。

学生時代の成績はおかげ様で関東インカレの表彰台にはあがることが出来ました。しかし私はそれ以上に価値のあるものを得ることができました。それは共に切磋琢磨し汗を流し、競い合った仲間や先輩、後輩、コーチの方々です。卒業以来全く会っていない同期生でも、ひとたび電話をすれば当時と変わりなく受

思い出

文学部 H8 年卒
(長野市) 宮川明美

同窓会新聞への原稿を依頼されたとき、正直困惑しました。

「なぜ、私に？」と。

大学卒業からだいぶ経ち、学生時代も遠い出来事になっていましたから。

今の大学がどんなに変わっているか、想像もつきません。

学生の頃は、所属していた研究所が厳

しいところだったのだ、長期休みは実習、実習ばかり。寮生だったこともあり、大学の寮の往復が日常でした。それでも、勉強以外の良い経験はたくさんできたと思います。

実習での 30 人近い人数の食事当番は忘れられません。まだ一年生で右も左もわからないなか、ペアの先輩が寝坊し(というより起きてきませんでした)、一人で作る羽目に。よく時間までに

できたなと思います。今だに、そのとき作ったメニューを覚えています。

他にも、冷蔵庫に入っていた牛乳が、冷気が庫内を循環できずにヨーグルトになっていたこと、寝ながらご飯を食べていた同期の姿や、おかわり競争が激しかったことなど、一月にもおよぶ実習はさすがに色々ありました。

おかげで同期たちとは卒業後も交流があり、恩師には「研



サッカーと共に生きる

政経学部 H18 年卒 (長野市) 下村 航

時間が経つのは早いもので、卒業して五年の月日が過ぎました。今あらためて振り返ってみますと、自分の夢を明確に持てたのが大

上田西高等学校サッカー部の恩師渡辺善和監督の母校である、国士舘大学へ進学しました。大学ではサッカー部に所属しませんでした。自分なりに一番サッカーと向き合えた時期でした。今までサッカーが自分に与えてくれたもの、サッカーを通じて成長できた事に気づき、自分はやはりサッカーが好きだと再確認できました。そして、今度は指導者としてサッカーに携わりたいと思い、就

職活動と同時に帰省し、指導者の道を歩み始めました。

現在私は、『AC長野パルセイロ』でジュニアユースのコーチをしています。『AC長野パルセイロ』は将来のJリーグ参入を視野に入れ、今季より日本フットボールリーグに昇格し戦うクラブです。『AC長野パルセイロ』はアスレチッククラブ長野パルセイロの略で、パルセイロとは、ポルトガル語でパートナー、親しい仲間、共同制作者といった意味があり、「長野

の全てのスポーツのパートナーでありたい」を目標としています。クラブは、過去に各国の代表監督を歴任したバドウ監督が在籍し強化を進め、現在もJリーグ経験者や、国内外の第一線で多くの経験を持った指導者が、普及・育成・強化を進めています。

十三年前のオリンピック開催を通じて世界に発信した、『NAGANO』をもう一度世界に発信するという熱い気持ちを持ちながら、クラブは少しずつ大きくなっています。



新卒一括採用の問題点

法学部 H18 年卒 (松本市) 金井 正道

私は 06 年 3 月に国士舘大学法学部を卒業後、北海道大学の法科大学院へと進学した。09 年 3 月に法科大学院を卒業した後は、就職活動をしなが、司法浪人をしていく。その中で、私が感じた新卒一括採用の問題点について、拙稿ながら述べさせていただきます。

多くの企業では大学卒業年の 4 月から採用という新卒一括採用を行っている。この新卒一括採用の正当性、合

理性とは何か。①まにばらつき、採用停止が起きている現状では新卒採用に拘っても年齢構成の維持には寄与しない。②確かに、4月から無色の新入社員を、まとめて教育するのは合理的だ。しかし、生を会社色に染め上げる、社内教育のしやすさ。③採用期間を集中させ、採用コストが削減できる。等がある。

しかし、以下の反駁が可能だろう。①年齢構成の維持という点だが、この新卒一括採用の正当性、合

支部総会の開催状況について

平成 22 年度の支部総会は 7 月 3 日に長野市内のホテル信濃路で開催しました。

当日は、来賓として新任の朝倉正昭学長・本部の田中稔副会長をお招きしました。なお、記念講演の講師として本学で学んだことのある元プロ野球の巨人・日本ハム・中日で活躍した二宮至松本大学野球部監督をお願いしました。

また、大学のキャリア支援課の大谷茂課長から学生の就職活動や長野県内の就職の協力依頼の話がありました。

総会は参加者の館歌斉唱から始まり、佐々木会長の挨拶の

希望する者が圧倒的に多いことから、これは既卒者の賛同を得ることとできる。③集中採用によるコスト削減という点についても、②同様、新卒・既卒の一括採用によれば現在とコストの差はない。

そもそも新卒一括採用が、高度経済成長期の確実な人材確保のための制度であったことを考えると、急激な経済成長やそれに伴う人材不足ということが考えにくい現在の社会には、この制度自体が合

わなくなっているのではない。また、コストを避けるのは、企業

ほか事業報告・会計報告・監査報告等を議決しました。議事終了後、朝倉新学長さんから就任挨拶と大学の現状のお話があり、田中副会長からは本部同窓会の状況について話がありました。

その後、長年の同窓会活動の功績を称え笹井計知前会長の功労者表彰がありました。

講師の二宮監督からは、プロ野球の秘話や本学政経学部 2 部での学生生活の話聞かせていただきました。

総会の目玉の懇親会は、中澤次生理事長の挨拶に始まり朝倉学長を囲んで 2 時間以上行ないました。なお、懇親会の席で記念講演の講師として当初予定し

ていた駅伝の五十嵐監督が都合により欠席された為、朝倉学長さんに「正月の箱根駅伝には是非出場できるように頑張ってください」とお願いしました。

平成 22 年度の総会出席者は、政経学部 13 名・体育学部 14 名・工学部 9 名・文学部 5 名・法学部 1 名の 42 名でした。



彼らが特別劣っているというわけではないだろう。だからこそ、何度も挫折を味わい、社会に出る前に疲弊してしまふ彼らを何とか救済する手立てはないだろうか。雇用を作出し、社会にサービスを提供する。これが企業の最も基本的で大事な社会的責任である。新卒採用には世代間不平等という自己責任論では解決不能な問題がある。

そこで、新卒という採用枠ではなく、未就労者などという括りで新卒・既卒の区別なく採用活動を行うことはできないだろうか。

新卒一括採用の問題点

法学部 H18 年卒 (松本市) 金井 正道

法学部 H18 年卒 (松本市) 金井 正道

平成 21・22 年度長野県支部役員名簿

役 職	氏 名	学部・学科	卒業年	住 所	電 話 番 号	備 考
顧問	米 澤 右 博	体育・体育	35 年	千曲市千本柳 609	026－276－4001	初代会長
顧問	中 津 頼 照	体育・体育	35 年	飯田市伊豆木 3915	0265－27－2718	
顧問	笠 原 憲 正	体育・体育	44 年	信州新町大字越道 6006	026－262－4222	楓教育会長
顧問	佐々木祥二	政経・経営	49 年	駒ヶ根市赤須東 1－35	0265－83－9815	長野県議会議員
顧問	笹 井 計 知	体育・体育	38 年	長野市西長野町 1100－5	026－232－6077	前会長
会 長	佐々木正行	工学・電気	44 年	佐久市平賀 5431	0267－62－1289	
理 事 長	中 澤 次 生	体育・体育	45 年	長野市若穂保科 3878－1	026－282－2363	
副 会 長	坂 東 峯 一	工学・建築	43 年	飯山市南町 19－7	0269－62－2080	
副 会 長	野 村 元 男	体育・体育	44 年	長野市松代町東条 2106	026－278－4311	
副 会 長	山 田 俊 明	工学・機械	44 年	佐久市臼田 1764－5	0267－82－3206	
副 会 長	風 間 孝 三	政経・経営	47 年	長野市田町 2103	026－235－1101	
副 会 長	矢ヶ崎紀男	法学・法律	47 年	上伊那郡辰野町伊那富 1111－4	0266－43－0691	伊那地区連絡員
副 会 長	朝 日 高 志	文学・教育	47 年	長野市小島 335－2	026－243－4889	楓教育副会長
監 事	山 本 久 人	政経・経済	47 年	長野市南堀 369	026－263－3501	
監 事	小 林 徳 子	文学・史学	51 年	長野市南堀 324	026－243－6250	
地区連絡員	師 岡 幸 人	工学・木工	53 年	長野市風間 1100－233	026－221－1602	北信地区
地区連絡員	御 影 英 夫	工学・建築	56 年	佐久市鍛冶屋 373－1	0267－62－1715	東信地区
地区連絡員	金 子 増 生	体育・体育	44 年	安曇野市穂高有明 1687－2	0263－83－2756	中信地区
地区連絡員	細 川 強	政経・政治	55 年	諏訪郡富士見町富士見 8293	0266－62－2305	南信地区
理 事	大 川 賢 明	体育・体育	42 年	塩尻市片丘 6639－3	0263－52－8674	
理 事	日 暮 良 三	政経・経済	42 年	佐久市春日 883	0267－53－2501	
理 事	吉 田 保	体育・体育	45 年	長野市篠ノ井布施高田五明 1062	026－292－0144	
理 事	伊 藤 雅 章	工学・建築	48 年	上田市中之条 1129－114	0268－26－8964	
理 事	西 田 均	文学・国文	52 年	大町市大町 5107－4	0261－22－7411	
理 事	安 部 章 子	政経・政治	54 年	佐久市桑山 60－9	0267－58－3985	
理 事	久 保 忠 文	体育・体育	54 年	中野市小田中 357－15	0269－26－6863	楓教育会担当
理 事	高 池 一 昭	体育・体育	56 年	長野市稲葉日詰 1731－72 A 2	026－222－6360	
理 事	小 林 政 宏	工学・機械	59 年	諏訪郡下諏訪町 4837	0266－27－9654	諏訪地区連絡員
理 事	牧 内 隆 雄	体育・体育	60 年	飯田市上郷飯沼 765－7	0265－53－1342	飯田地区連絡員
理 事	大 井 秀 典	政経・経済	63 年	佐久市新子田 1696－65	0267－67－8945	
事 務 局 長	金 井 哲 雄	法学・法律	47 年	長野市豊野町豊野 1905	026－257－2835	
副事務局長	荒 木 博 明	体育・体育	55 年	長野市檀田 2－2－10	026－263－1302	楓教育会担当
事 務 局 員	有 坂 清 明	政経・政治	H 8 年	長野市北長池 350 朝陽職員宿舎 C－7	0268－36－3817	
事 務 局 員	村 石 時 康	政経・経済	H12 年	須坂市下八町 2181	026－246－1201	

株式会社 佐々木工業

代表取締役会長 佐々木正行
工学部・電気学科 S44 年卒

〒385-0051
佐久市中込 3368
☎0267-67-1820

風間会計事務所

所長・税理士 風間 孝三
政経学部・経営学科 S47 年卒

〒380-0815
長野市田町 2103
☎026-235-1101

坂東建設株式会社

代表取締役 坂東 峯一
工学部・建築学科 S43 年卒

〒389-2254
飯山市南町 19-7
☎0269-62-3321

有限会社 師岡組

代表取締役 師岡 幸人
工学部・土木学科 S53 年卒

〒381-0023
長野市風間 1100-233
☎026-221-1602

有限会社 西久保開発

細川 強
政経学部・政治学科 S55 年卒

〒399-0211
諏訪郡富士見町富士見 8294
☎0266-62-2305

大井通信株式会社

代表取締役 大井 孝友
政経学部・経済学科 S61 年卒

〒385-0051
佐久市中込 3300
☎0267-67-4113



が集まった総会とした
いのですが、せめて53
名を超えた人員で総会
を開催したいと思っ
て頑張っています。魅
力ある総会にするた
めに役員会で色々検
討して講演会の講師
の選定に力を入れて
います。

本書出身で有名人を
呼んだら少しは参加
者が多くなるのでは
と、NHKのサッカー
解説の宮沢ミッシェ
ル氏を総会の講師を
お願いしたこともあり
ますが50名の参加
者にはなりません。

また、21年度の柔
道の斉藤仁監督の講
演も50名には達し
ませんでした。どう
したら多くの会員に
参加していただける
か難問です。23年の
総会に多くの会員の
皆様に参加してもら
えるように総会の講
演会の講師に、サッ
カーで活躍してい
る「アテネ五輪日本
代表監督の山本昌邦
氏」をお願いし、現
在交渉を進めていま
す。

この13年間の事務
局を担当して感じた
ことを書かせていた
だきます。事務局を
担当した当初は、総
会案内の通知を出
すと必ず苦情が来
ました。「俺は国士
舘とは関係ない」と
か「もう、通知は
一切い

らない」などお叱り
の電話ばかりでした。
最近、苦情は少なく
なりましたが通知を
出しても返信の葉書
が返ってきません。
また、電話での会
話で「総会が体育
学部の怖い先輩が
主体で上下関係が
厳しいので嫌だ」
（体育学部の皆さ
ん方ごめんなさい）
とよく言われまし
た。でも、昭和41
年開設の法学部出
身で学生時代は勉
強やクラブ活動も
しないノンポリ（
古いかな）であ
った私が事務局を
担当しているの
です。未だ多くの
皆様に信用してい
ただけないよう
です。

ところで、皆さ
んの話を聞くと同
期や同学生部の
4・5人の同窓生
の集まりはある
ようですが果
然の集まりにな
ると参加が
無くなるよう
です。

是非長野県
の支部総会
にも参加を
お願いします
（法学部出身
の皆さん宜しく
お願いします）

最後に、年会費の
振込用紙を同封
しますので納
入についてよろ
しく願います。